

丹沢大山の自然再生に向けた 取組について



自然再生の取組のひとつとして、
団体等と力を合わせ、登山道の
維持・管理・補修を行っています。

丹沢山地では、1980年代から自然環境の劣化が目立ち始めました。
そこで県は「丹沢大山自然再生計画」を平成19年3月に策定し、
10年以上にわたって丹沢大山の保全・再生に取り組んできました。
この計画の中で、優先的に取り組むべき課題（特定課題）として
「自然公園の利用のあり方」を位置づけ、団体等との協働による登山
道の維持管理などを実施しています。



フナの立ち枯れ

くわしくは

丹沢大山自然再生計画



①ブナ林の再生



②人工林の再生



③地域の再生



④溪流生態系の再生

丹沢大山自然再生計画
8つの特定課題



⑤シカ等野生
動物の保護管理



⑥希少動植物
の保全



⑦外来種の監視
と防除



⑧自然公園
の利用の
あり方

登山者による
環境への影響軽減対策

主要な施策

自然公園利用に関する
マナー等の普及啓発

団体等との協働による登山道維持管理
の実施（登山道維持管理補修協定）

自然公園における
利用のあり方の検討

登山道等の整備
・維持管理

環境配慮型山岳公衆
トイレの整備・維持管理

登山道維持管理補修協定とは



自然環境保全センターと団体等が目的を共有し、互いに協力しあって働くことで、登山道の補修等を円滑に行います。



自然環境保全センター

- 助言、技術指導
- 資材や機材等の提供・貸与

協定

- 計画書
- 実施報告書

団体等

対象の路線で補修活動※

- 小規模な修繕
(水切り工、丸太階段、看板等)
- 小規模な丸太柵等の設置
- その他補修活動に付随する活動

※：急傾斜地等危険を伴う区域における作業、高度な技術を要する作業及び重い労役を要する施設整備は対象としない。



水源環境保全・再生
イメージキャラクター
かながわしずくちゃん

活動費用の一部として
「水源環境保全税」
を使用しています。

かながわ水源税

— 登山道維持管理補修協定を締結している団体 —

NPO法人みろく山の会

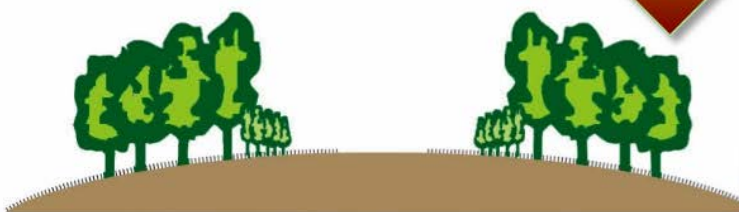
丹沢山小屋組合

神奈川自然公園指導員連絡会

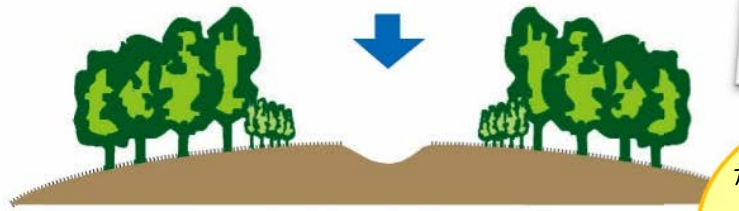
(平成29年9月現在)

なぜ、登山道を補修するのか？

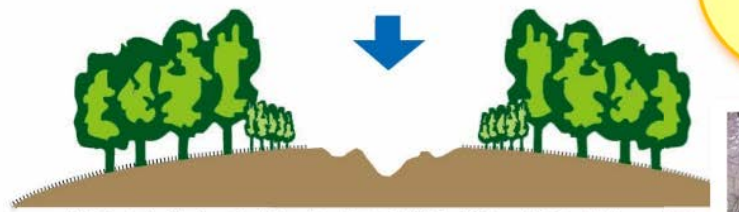
登山道はこうして荒れていく...



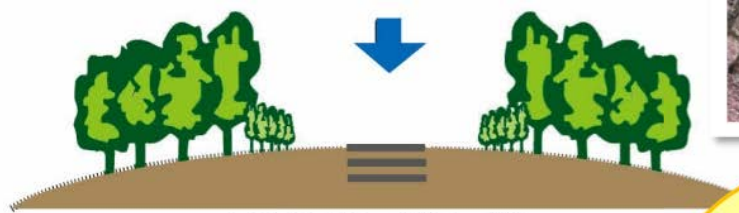
登山者に踏み固められた所には、草が生えなくなる。



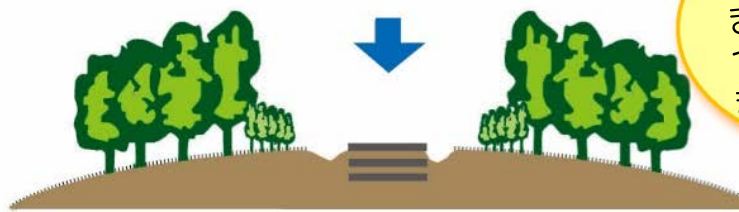
雨水などで土が流され、掘れてくる。



ぬかるみを避けて歩くために踏み跡が広がり、さらに掘れてくる。



山を守るために、階段をつける。



階段を避けて歩くために脇が掘れる。さらに登山道が荒れる。

多くの方が歩いたことで、本来の地面の高さから、人の背丈ほども下がっています



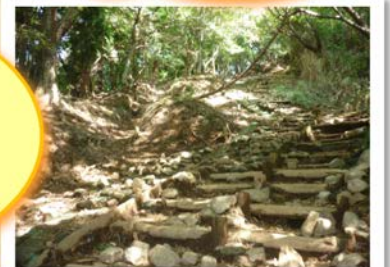
根が露出してしまったり、ぬかるみができるてしまいます



ぬかるみを避けて脇を歩くため、さらに道が広がってしまいます



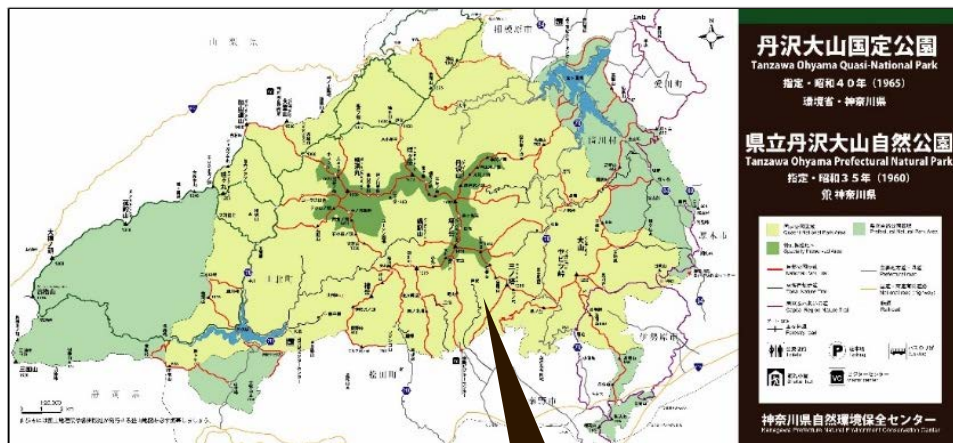
階段も段差が大きくなり、歩きづらくなってしまいました



※写真は、大倉尾根で撮影されたものです。

いよいよ補修作業が必要になりました

県民協働の活動で 補修を行った登山道



丹沢大山の中でも、
利用者が多い路線を補修しています。

協力団体

NPO法人 みろく山の会 自然保護部

大倉尾根線で
補修活動しています



団体設立

1983年4月

設立目的

健全かつ安全な登山、ハイキングに対する事業を行いスポーツの振興に寄与する。

活動内容

- 清掃登山…創立以来継続しており第34回（平成28年3月4日）には大倉周辺の10コースに会員219名が参加し、ゴミ183kgを収集。
- 高校生が取り組む「丹沢やまみち再生体験」…平成28年1月24日に県下の高校生50名が参加して大倉尾根一本松付近で又カルミ対策を実施。
- NEXCO 中日本との協働…大倉尾根の裸地対策として大倉尾根で採取した種から苗を育成し、登山道脇に植栽。
- 森づくり…ヤドリキ水源林で年に数回の草刈りと毎年100本以上の広葉樹を植樹。

丹沢大山自然再生計画における活動年表

第1期
2007年---2011年

第2期
2012年---2016年

第3期
2017年---2021年

2008年9月
県と協定を結ぶ

大倉尾根線

いつもありがとう
ございます



2017年10月現在

協力団体

神奈川県公園指導員連絡会

下社大山線及び表尾根線で補修活動しています



団体設立

2012年4月

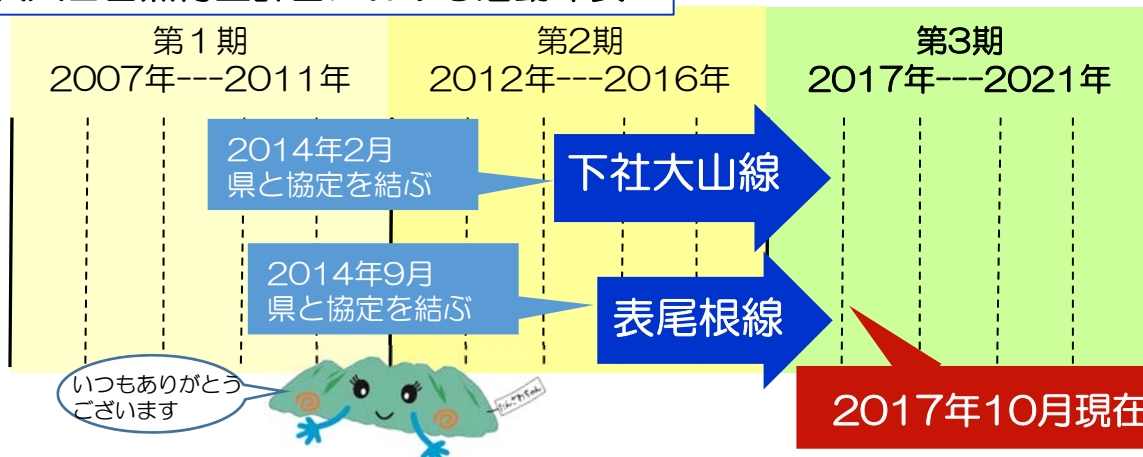
設立目的

神奈川県自然公園指導員有志、並びに神奈川県自然公園指導員連絡会役員会で認定した会員で構成し、会員相互の親睦を図り、人と人をつなぎ、情報と情報をつなぐことで巡視活動を共有し、活動の活発化を図る。さらに神奈川県内において、任意にボランティアとして活動することを目的とする。

活動内容

- 情報交換、技術研修、交流親睦会を開催。
- 神奈川県内の自然公園における自然環境保全と、自然管理補修等に関する活動を行う。
- 神奈川県内の自然公園を巡視し、得た情報を速やかに自然環境保全センターに報告する。
- 神奈川県自然公園指導員連絡会補修隊は、2013年10月に24名の隊員で編成され、毎月第3火曜日を、定例とし補修活動を実施している。
- その他、資材の荷揚げ、大山山頂付近に設置された「登山者カウンター」の調査を行う。

丹沢大山自然再生計画における活動年表



協力団体

丹沢山小屋組合

鍋割山稜線及び二俣鍋割線
で補修活動しています



団体設立

1962年11月

設立目的

丹沢山小屋組合は丹沢山の自然美をよりよく生かしてこれを守り広く宣伝して登山者その他を誘致する。登山者等の遭難防止に努め、秦野市丹沢遭難対策協議会に参加し、救助に協力する。業務の改善を図り登山者等に利便を与え共存共栄の実を挙げることを目的とする。

活動内容

- ・講習講話会、研究会の開催及び先進地の視察。
- ・食品衛生励行に伴う諸施設等の相互検査及び指導。
- ・丹沢の宣伝啓発等を行う諸団体との協働事業。



約110kgの荷物をポッカする
鍋割山荘草野氏

丹沢大山自然再生計画における活動年表



いつもありがとうございます



登山道補修に使う資材・道具



丸太と杭

階段を作るための横木と杭。スギやヒノキ材がありますが、ヒノキの方が丈夫で長持ちします。



掛矢 (かけや)

檜(かし)などで作った大型の木槌。木の杭を打ち込む作業で使います。



土のう袋

麻や化繊などの素材があり、主に土留めや路面の整形など使い方は工夫次第で多彩に利用できます。



ハンマー

カスガイや鉄杭を打ち込みます。



背負子 (しょいこ)

文字通り背背負って、物資を運搬する場合に使います。

安全の
ために！



ヘルメット

頭を保護します。補修時は常に被って作業します。

登山道はこうして補修されます

その1 資材を運ぶ人と技

重たいものはヘリコプターで吊り上げて山の上へ運びます。荷物を上げ下ろしは、パイロットの技の見せ所です。



登山道補修資材の重さは300~400kg
丸太・鉄や木製の杭・ロープなど

人の力で担いで運び上げるものもあります

60kg以上を担ぐツワモノもいます！



ゴールまであとすこし！

背負子に資材の丸太を載せて、1,200m程の山を登ります。荷の重さは約30kg！



石の運搬は、一般登山者の方々にもご協力いただいています

